

古賀っ子学力向上プラン

【学校教育目標】 自ら考え主体的に判断し行動する、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成
～「学び、考え、行動する」未来を創る古賀っ子の育成～

【目指す子ども像】 <やる木>課題解決意識をもって学び合う子ども <げん木>元気にあいさつをし、しっかりと反応する子ども <こん木>目標に向かって成し遂げようとする子ども

【研究主題】 できた！わかった！の創造 ～「伝え合う力」の向上を目指した話し合い活動の工夫と環境づくり～

【基礎基本の向上】 ○学習内容を定着する場が設定された各教科の授業 ○語彙の獲得（読書活動の充実） ○習熟度別学習を取り入れる。 ○個に応じた指導（個別指導の徹底）	【思考力・判断力・表現力の向上】 ○各教科における言語活動の充実 ○主体的で対話的な活動の充実 ○ペア学習、グループ活動等、協同的な学びを取り入れる ○スキルタイムの充実（トークトレーニングなど）	【家庭学習の充実】 ○「家庭学習の手引き」の活用とその定着（学年×10＋10分） ○自主学習の奨励（家庭学習の手引きの作成） ○クロームブックの積極的活用（キュビナによる自主学習など）	【学びの環境づくり】 ○「ユニバーサルデザインチェックリスト」の活用 ○電子黒板等、ICT機器の活用 ○特別支援教育、支援体制の充実	【授業力・指導力向上のための研修】 ○校内研究の充実（1人1本授業の実践） ○外部の研究発表会、各種研修会への積極的な参加と伝達 ○情報教育担当教員によるICT機器の活用に関する研修
---	---	--	--	---

		学年の課題	今後の目標（子どもの姿）	達成のための具体策	検証方法
1年生	国語	・語彙が少ない。 ・丁寧さが不足している。読むことに興味が乏しい。	・話す・聞く・書くなどの基本的な力を身につけている。	・読書・読み聞かせ・短文を書くこと・トークトレーニングなどに継続して取り組み、定着を図る。	○授業での成果物(ノート等) ○単元テスト
	算数	・数の概念がない。 ・場面把握ができない。	・自分の力で問題を把握し解いて説明することができる。	・考え方や求め方を書いて説明させる。（例示したものを真似させる）	○授業での成果物(ノート等) ○単元テスト
2年生	国語	・聞くこと、話すこと、書くことが苦手であり、学習意欲も乏しい。	・最後まで話を聞く。自分の考えを持ち、交流をできる。(具体的に感想を伝え合う。)自分の考えを文章で残すことができる。	・交流するための言葉のモデルを作成し、真似をするところからレベルアップしていく。 ・言葉のシャワーを浴びせる。 ・知らない単語を映像等を使い想像できるように手助けする。	○授業での成果物(ノート等) ○単元テスト
	算数	・話を聞いたり、問題を読み込んだりすることが苦手である。 ・反復練習に粘り強く取り組むことや応用の必要な問題に取り組むことが苦手である。	・考えの足跡を残す。諦めずに最後まで問題に取り組む。考えを図や言葉、式で表す。	・ノートに自分の考えを書き込む指導を行う。途中まででもいいのでわかっているところまでをノートに書く。	○授業での成果物(ノート等) ○単元テスト
3年生	国語	・「話す・聞く」の領域においては、話し手に関心をもち的確な質問を行うことや、相手に伝わるように順序を考えて話すことに課題がある。 ・「書く」の領域においては、伝えたいことを明確にして、内容のまとまりが分かるように文章を書くことに課題がある。 ・「読む」の領域においては、事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えることに課題がある。	・話し手に関心をもち、伝えたいことの中心を捉え、自分の感想をもちながら集中して聞くことができる。 ・相手に伝わるように、理由や事例を挙げて話の構成を考えることができる。 ・書く内容の中心を明確にし、事柄の順序に沿って内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考えることができる。 ・叙述を基に、考えとそれを支える理由や事例との関係や、登場人物の行動や気持ちなどを的確に捉えることができる。	・4人程度のグループで話し合う活動を、国語科だけでなく、学級活動や、スキルタイムでも取り入れる。その際必ず、質問や感想を述べるよう促す。 ・自分の考えや気持ちを書いたり話したりする際は、文章の内容や形式の例示を工夫するとともに、相互参照や相互評価の機会を適宜設ける。 ・スキルタイムで、テーマに沿って自分の考えや出来事などを決められた条件で書く活動を取り入れる。	○授業での成果物 ○単元テスト
	算数	・「倍の見方」が十分理解できていない。念頭による思考が十分働いていないと見られる。 ・適切な単位を使うことに課題がある。3年生の学習内容である単位換算（長さ）も弱い。 ・計算の処理速度が遅い児童がいるとともに、既習内容を生かして素早く解決することに課題。	・四則演算を、速く正確に行うとともに、問題に粘り強く取り組むことができる。 ・文章題の題意を正しく捉え、適切に立式し、答えまでたどり着くことができる。 ・長さや重さ、時間などの単位への理解を確かにし、進んで問題に取り組むことができる。	・デジタル教科書などを活用して、問題の内容を視覚的に捉えられるように配慮する。 ・プリントやドリル、Qubenaなどを活用して、学習した内容の習熟を図る機会を十分設ける。 ・学習した内容を書かせて伝え合わせることで、内容の理解を深められるようにする。	○授業での成果物 ○単元テスト
4年生	国語	・聞く力が不十分である。集中して話を聞いておらず、聞いているつもり、分かったつもりになっている。相手が伝えたいことを聞きながら理解できない。 ・読み取る力が弱い。	・まずは人の話を最後までしっかり聞く。相手が伝えたいことを考えながら話を聞くことができる。	・話す人の「以上です。」の言葉がでるまで黙って聞く。 ・話に対して全員が質問する機会を多く設ける。(授業中やスキルタイムなど)	○授業での成果物 ○単元テスト
	算数	・読解力が乏しい。 ・ケアレスミスが多い。(計算や立式など)	・見通しをもって、解決することができる。 ・計算の仕方を正しく理解し、正確に計算することができる。	・キュビナなどを活用し、たくさんの読み取り問題に触れさせる。 ・繰り返し問題を解かせ、間違えた問題はやり直しを必ず行う。	○授業での成果物 ○単元テスト

5年生	国語	・文章から読み取る力が乏しい。 ・話を最後まで聞くことが苦手である。聞いているようで、理解できていない。	・読書に親しみ、文章からイメージしたり、内容を理解したりすることができる。 ・相手の話に関心を持ち、最後まで聞くことができる。	・読書の充実（隙間時間の活用、読書タイムの確保） ・相槌や頷きなど、相手の話に共感を示す動きを習慣化する。 ・大切なことはメモを取るようにする。	○授業での成果物 ○単元テスト
	算数	・基本的な四則演算が苦手である。掛け算九九など既習内容の習得が不十分で、振り返りが必要な児童も見られる。 ・文章題を読み取り、式を立てることができない。	・四則演算を正確に行うことができる。 ・文章題の題意を読み取り、問題に粘り強く取り組むことができる。	・四則演算の練習を、短時間でもいいので毎日継続して行う。 ・文章題の読解力をあげるために、文章題の問題を、耳から聞き取ってノートに書くという練習を行う。	○授業での成果物 ○単元テスト
6年生	国語	・文章から読み取って書き抜く、答えに合うように語尾を変えることが苦手な傾向にある。 ・本に触れ合う時間が少ないことから、文章の読み取りやデータの読み取りが苦手な傾向にある。	・資料や文章を読み取れるようになる。 ・本に触れることが好きになる。	・資料や文章を読み取る機会を増やす。 ・待ち時間や空き時間は読書の時間に充てる。 ・毎月の学年目標冊数を達成する。	○授業の成果物 ○テスト
	算数	・図で表す、数直線で表すことを苦手としている。 ・話すこと、聞くことの力に差が見られる。 ・家庭学習への取り組み方に差が見られる。	・図や数直線を使って説明できるようにする。 ・人の話を最後までしっかりと聞くことができる。 ・自ら進んで学習に取り組めるようになる。	・自己解決の時間を毎時間設定する。 ・教え合い活動を積極的に取り入れる。 ・1日5分程度キュービナに取り組む時間を設ける。 ・スキルタイムでトークトレーニングを行う。	○授業の成果物 ○テスト